



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

日本共産党荒川区議会議員 斉藤くに子 区政ニュース

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp 区議会: <http://www.jcp-arakawakugidan.jp/>
くに子ブログ: <http://s-kuniko.jugem.jp/>



2025年6月22日 No.1385

区役所直通 3802-4627

fax 3806-9246



★無料法律・生活相談会★

弁護士定例相談は第四月曜日

6月23日(月)18時～

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮は随時随時に対応します。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax 3806-5134

定例法律相談は予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

事前にご連絡ください。

区議会6月会議がはじまります(6/24～7/9)

区議会6月会議が6月24日(火)から7月9日(水)まで開催されます。区長提案の議案は条例改正など11件(下表)のほか、人権擁護委員候補者推薦5件の計16件。

さらに、シルバーパス助成の補正予算が追加提案される予定です。

幼児・児童料が
完全無償化に

都が9月から、0～2歳の第1子の保育料無償化を行うことを受け、
区の条例を改正。都内ではすべての子どもの保育料が無償に。

「誰でも通園」を東日暮里保育園一時保育室で開始し、来年度以降
私立保育園に拡大する予定。



グリーンハイムを
一時移転 大規模改修に伴い、区立特
養グリーンハイム荒川を8月

から台東区に一時移転。



【6月会議の案件】

都議会議員選挙
投票日のすぐ後か
ら6月会議が始ま
ります。

日本共産党区議
団は横山区議と斉
藤くに子の2人が
本会議質問します。

準備が大変です
が頑張ってます。

横山区議は24日
(火)・斉藤は25日
(水)に介護障害施
設の緊急支援・がん
検診・不登校問題
を取り上げます。
是非にお越しく
ださい。



総務企画	一般会計補正予算 (第2回)	▶ 補正額: 7621万円 ・保育施設等へ物価高騰対策として補助を実施 ・0～2歳の第1子の保育料無償化(都事業)
	職員の勤務時間、休日、休暇等 に関する条例の一部改正	▶ 子育て中の職員に対し、仕事と育児の両立支援 の実施意向を確認するよう明記する
	職員の育児休業等に関する 条例の一部改正	▶ 部分休業の取得パターン見直しと対象拡大
	児童防災キャップの購入	▶ 小学生児童防災キャップ 9,140個の購入契約 (契約金額: 4102万320円)
	包括外部監査契約の締結	▶ 区の財務等に関して第三者による監査を実施 契約金額の上限: 841万8,300円
文教・子育て	乳児等通園支援事業の設備 及び運営の基準に関する条例	▶ 「こども誰でも通園制度」開始にともない、基準 を定める
	保育の必要性の認定基準等に 関する条例の一部改正	▶ 子育てに関する給付等において、保護者の虚偽 報告があった場合などの過料の対象を拡大
	保育所保育料に関する条例の 一部改正	▶ 0～2歳の第1子の保育料を無料とする
	幼稚園教員の勤務時間、休日、 休暇等に関する条例の一部改正	▶ 「職員の～」と内容同じ
福祉・区民	区域外における公の施設の 設置に関する協議について	▶ 建物の大規模改修にともない、グリーンハイム 荒川を台東区へ一時移転する
	区立特養ホーム条例の一部改正	▶ グリーンハイム荒川の位置と定員を変更

※建設環境委員会は案件なし

子ども関連補正予算 8割が都支出金

区は、6月議会に子育て施設の
光熱費・食材費への補助、第一子
の保育料無償化の補正予算を提案
しました。子育て施設等の物価高騰対策は、遅きに失した感があります。

また第一子に保育料無償化は、東京都が今年9月から実施することを決めたこと
による新規事業です。いずれにしても子育ての負担ゼロに一步前進です。

この2事業にかかる経費の大半は、都から出ます。区の独自の対策が見えません。
横山区議が本会議質問で区の思い切った物価高騰対策(消費税減税求めよ・エア
コン助成電気代補助・中小企業のエネルギーなど直接支援・生活保護運用の改善な
ど)を求めます。

6月会議日程



6月24日(火) 9:30～全員協議会 10:00～本会議(各党質問)
25日(水) 10:00～本会議(各党質問)
30日(月) 10:00～総務企画委員会、福祉・区民生活委員会
7月1日(火) 10:00～文教・子育て支援委員会、建設環境委員会
9日(水) 9:30～全員協議会 10:00～本会議

①ダイオーズ②ウォータースタンドと区が協定 区有施設にマイボトル用給水機を設置

熱中症予防とプラスチック製品の使用抑制のため、あらかわ街なか避
暑地: アクト21、町屋文化センター、生涯学習センター、荒川老人福祉
センター、アクロスあらかわ、荒川区役所北庁舎、花の木ひろば館、荒
木田ふれあい館など15か所にマイボトル用給水機を設置しました。

【問合せ】環境課環境計画係 電話: 03-3802-3164



「区が高齢者外出促進・支援の取組」として シルバーパス利用者(課税)へ区独自補助実施へ

6月9日の福祉・区民委員会に「高齢者の健康づくりのための外出促進、外出支援のとりくみについて」としての一つとして、シルバーパスの区独自補助を決めたとの報告がありました。

消えた「敬老」 シルバーパスは都の事業で、元々は無料の「敬老乗車証」でした。

ところが79年に所得制限を導入、名称も「老人パス(のちにシルバーパス)」に変更。さらに2000年からは自己負担額を非課税者1,000円・課税者20,510円に。

「使いやすく」見直し求め提案 「少しの違いで課税となり購入を諦めた」という方が多くおり、日本共産

シルバーパス
負担軽減条例提案

☆課税者20510円に区が補助し負担を軽減する
2009年2月 条例提案
2010年2月 条例提案
2018年2月 条例提案
2020年2月 条例提案

く、今年10月から20,510円を12,000円に引き下げることを提案。

突然…シルバーパス助成で一律千円に!?

区はこれを受け、さらに70歳以上の希望者全員が1,000円で取得できるよう、差額11,000円の助成を行う補正予算5400万円を、6月会議に提案するとしました。

180度違う区の政策転換にビックリしましたが、これまで区でも都でも提案してきたことが実現したことは多いに歓迎です。

東京都で早く一律千円に!

荒川区民だけでなく、東京都全体で一律1000円になれば、一度12000円支払って還付してもらうなどの区としての事務経費などがなくスムーズにいくのと思います。

利用者のうち
課税は約1割だけ



党区議団は5000円パスの条例提案をしてきましたが、区も他会派も否定的な態度に終始。

都議会でも共産党都議団が見直しを求め、都はようや

2017年 3月	3000円バスを創設し、多摩モノレールやゆりかもめへの適用拡大、都県をまたぐ路線にも利用できるようにする条例改正案を生活者ネットと共同提出。 継続審査に
2017年 6月	継続審査の条例案を 自民、公明、都ファ、維新などが反対・否決
2018年 3月	所得に応じて新たに3000円バス創設などの条例改正案(※)をネットと共同提出。 自民、公明、都ファ、維新などが反対・否決
2020年12月	3000円バス創設などの条例改正案(※)を提出。 自民、公明、都ファなど反対・否決
2023年 9月	3000円バス創設などの条例改正案(※)を提出。 自民、都ファ、公明、維新など反対・否決
2024年 7月	都知事選で小池知事が「シルバーパスの改善」「多摩モノレールをシルバーパスの対象に」と公約
2024年12月	一律1000円、利用交通機関の拡大と都県をまたぐ路線でも利用できる条例改正案を提出。共産、立民、ミライ、ネット、グリーンの5会派39人が賛成。 自民、都ファ、公明、維新など反対・否決
2025年 1月	予算編成への提案で、無料化あるいは一律1000円などの負担軽減、東急世田谷線、コミュニティバスへの適用拡大(※)を提案
2025年 1月	予算査定で20510円を12000円に値下げする方針が明らかに。

地域の公共交通に区の予算を

外出支援というなら「地域公共交通」計画を

区はこみバスさくらの廃止減便はそのまま、令和あらかわ病院の無料巡回バスや介護事業所の送迎車活用など検討するとしています。しかし利用者のニーズに合うのか、病院や介護事業所の利用者以外の人も本当に乗れるのか。

こみバスには一円の運行補助はしないと言っていたが、病院や介護事業所の車利用にはお金を出すのか?…わからないことだらけです。

やはり、実態調査など一切やらずに、「安上がり」で済まそうという発想にしか見えません。

高齢化のなかでシルバーパスの果たす役割は大きく、利用促進が重要となる一方、さくらバス廃止・減便など公共交通そのものが縮小され、「バスがあってもバスがない」現状も。また、高齢者だけでなく障がい者や妊婦などの移動支援も不足しています。

地域や世代を分断しないためにも、個々に寄り添った移動支援とともに、高齢者や妊婦、通勤通学の利用など幅広く役立つコミュニティバスを区として維持していくことが、移動支援に不可欠では。

外出支援というなら、コミュニティバスも含めた「地域公共交通計画」策定を本気で取り組むべきではないでしょうか。

誰もが自由に移動できる「魅力あふれるまち荒川」に向けた取組こそ急がれます。



なせ？ 多くの掲示板



せめて60%位にはしたいですね。投票もどうかお忘れなく。

東京都議会議員選挙で、街中にはポスター掲示板上も立てられていますが、なんだか余白が多い?

選挙管理委員会に聞いてみたところ、都議選の掲示部分を外して白い覆いを取ると、7月の参議院選挙用の掲示版になるのだとか。

連続して選挙があると選管の準備も大変。 前回の都議選(荒川区)の投票率は43.10%、前々回が52.94%でした。